

# 種類別明細書の書き方（例）

「増加事由」の欄は、  
1 新品取得 2 中古品取得 3 移動による受け入れ 4 その他  
のいずれかに○印をつけてください。

## 注意事項

この用紙は、電子計算機にて  
処理をしますので、文字、数字  
等は、わかりやすくはっきりと  
記入してください。

記入については、次の点に注  
意してください。

- 令和8年1月1日（賦課期日）  
現在の状況を記入してください。
- 増加・減少がない場合でも  
この種類別明細書は提出して  
ください。
- 資産の名称等の欄は、名称  
及び規格等を記入してくださ  
い。
- 種類ごとに並べて記入して  
ください。なお、異なった種  
類の間は1行空けてください。

※ 所有者コード			※			種類別明細書（増加資産・全資産用）												所 有 者 名			枚のうち		
記入する必要はありません。			(M明治、T大正、S昭和、H平成、R令和)												株 △△商事			枚 目					
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例			課税標準額	増加事由	摘要						
					年号	年	月					率	コード										
0 1 1	1 アスファルト舗装	1	S 5 5 4	1	500	000	1 0	0.	1	500	000	1 0	0.	1.2	3.4								
0 2 2	2 自動ワインダー	1	S 5 8 1 0	3	500	000	1 0	0.	3	500	000	1 0	0.	1.2	3.4								
0 3 2	3 織機	1	S 5 5 4	100	000	1 0	0.	100	000	1 0	0.	100	000	1 0	1.2	3.4	R7.3 廃棄						
0 4 6	4 タイムレコーダー	2(1)	S 5 5 4	(70 000)	140	000	5	0.	(70 000)	140	000	5	0.	1.2	3.4	R7.3 1台廃棄							
0 5														1.2	3.4								
0 6														1.2	3.4								
0 7														1.2	3.4								
0 8 2	織機	1	R 7 2	450	000	1 0	0.	450	000	1 0	0.	450	000	1 0	1.2	3.4	①2 3.4						
0 9 2	自動ワインダー	1	R 7 1 1	1 850	000	8	0.	1 850	000	8	0.	1 850	000	8	1.2	3.4	中古						
1 0														1.2	3.4								
1 1 6	コンピューター	1	H 1 6 7	330	000	5	0.	330	000	5	0.	330	000	5	1.2	3.4	R7.4移動						
1 2														1.2	3.4								
1 3														1.2	3.4								
1 4														1.2	3.4								
1 5														1.2	3.4								
1 6														1.2	3.4								
1 7														1.2	3.4								
1 8														1.2	3.4								
小計												5	5 240 000	7 700 000									

「資産の種類」の欄に記載する番号は下記のとおりです。

1 構築物 2 機械及び装置 3 船舶 4 航空機 5 車両及び運搬物 6 工具、器具及び備品

◎各種類の間は1行開けてください。)

◎減少した場合

◎一部減少した場合

◎新品取得の場合

◎中古資産である場合

◎移動資産である場合